

AAP 縮む日本、新たな商圏の開拓へ

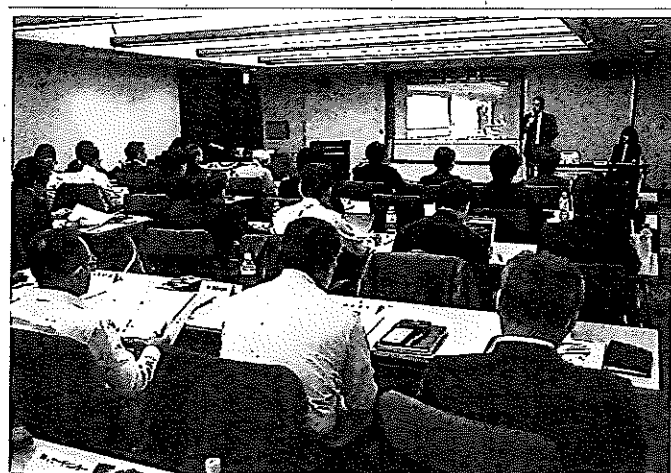
活発な事業活動展開

15年目の日系生産企業グループ

アジア・アパレルものづくりネットワーク(AAP)は四月二十四日、東京・浜松町のチサンホテル浜松町で通常総会を開き、二〇二五年度事業計画書、活動計画書を承認した。総会後の例会では、経済産業省生活製品課の高木重孝課長が「繊維産業のサステナビリティー実現へ向けた取組と産地サプライチェーンについて」と題して講演した。アパレル業界交流会では、トランプ関税発表後のベトナムで人の余剰が生じていることや、バン格拉デシュの情勢などについて活発な意見が交わされた。

AAPは、アジアに生産員二十八社のほか協力会、産地を持つ日系生産企業員十四社、特別協賛会員(工場・メーカー)に十六社を合わせて五十八社。

活動は、二カ月に一回例会を開催。スタディミーティングで各界有識者などによる講演、参加者などによるアパレル業界交流(二〇二三年)、イタリ



例会で講演する高木重孝経産省生活製品課長

定していたが政変により

中止。今年、渡航レベル1になったバン格拉デシュに再度挑戦する。二〇二五年度事業では、「縮む日本、新たな商圏の開拓とさらなる成長を目指して」をテーマに設定。四月の総会・例会を皮切りに、六月二十

五日の第八十四回例会をはじめ二〇二六年二月十八日の第八十八回まで、二カ月に一回の例会日程とスタディミーティングの講師・講演テーマを決めた。

要件の一つである「JASTI制度」について」の講演を予定している。バングラデシュへのスタディツアーは十月二十日、二十四日を予定。AAP2025展示会は十二月三、五日に開催する。

六月二十五日に開催する第八十四回例会でのスタディミーティングでは、志知勝氏(ロープ社長)による「新たな商圏IIBCビジネスを構築する術をお話します」乗り越える壁とは?」、岡橋克二氏(カケンセスターサステナビリティー経営推進部CSR推進室室長)による「繊維業における特定技能制度の受け入れ

・プランニング社長)が常川雅通氏(サンティ社長)とともに代表理事を務めることになった。新役員は次の通り。

(理事)小島正憲小島衣料社長、常川雅通サンティ社長、宮崎守オードー・オブ・メリット・ランニング社長、政井一哉陽峰ソーイング社長、古島一男ファッシュンクロスフルシマ社長、中野一憲ナカノアパレル社長、山口有一郎小島衣料取締役、吉野雄大高間社長が新たに理事に就任。創立以来代表理事を務めていた小島正憲氏(小島衣料社長)は理事に退き、宮崎守氏(オードー・オブ・メリット